



内務技師米田正文依願免官ノ件
右謹テ裁可ヲ仰ク
昭和八年八月五日

内閣總理大臣子爵齋藤實



内閣



裏面白紙

内第三六五號

案起

昭和八年八月四日

裁可昭和八年八月五日施行

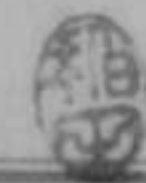
昭和八年八月七日

内閣總理大臣

内閣書記官長



内閣書記官



内務技師米田正文依願免官
件

内閣

七日付

内務技師 米田正文

依願 免本官

右 謹 奏

和 八年 八月 四日

内務大臣 男爵 山本 達雄



内務省

米田正文
内務技師
昭和八年八月四日

退官願

小官儀

一身上ノ都合ニ依リ退官致度候間
御許可相成度此段奉願候也

昭和八年七月二十日

内務技師 水田正文



内務大臣男爵 山本達雄殿

裏面白紙

内務省

四六六號

別紙 末田公文 免取 1件

上奏書進達ス

昭和八年八月四日

内務大臣男爵山本達雄



内閣總理大臣子爵齋藤 實殿

奉月七日付者令取込交

本件退官後滿洲國
奉月七日(月曜)在令
有之候

四六六號

別紙 末田五文 免取ノ件

上奏書進達ス

昭和八年八月四日

内務大臣男爵山本達雄



内閣總理大臣子爵齋藤 實殿

奉月七日付者令切込交

内務省

159

本件退官後滿洲國、應聘ノ者ニ付
奉月七日(月曜)在在相成、原旨申出
有之候